

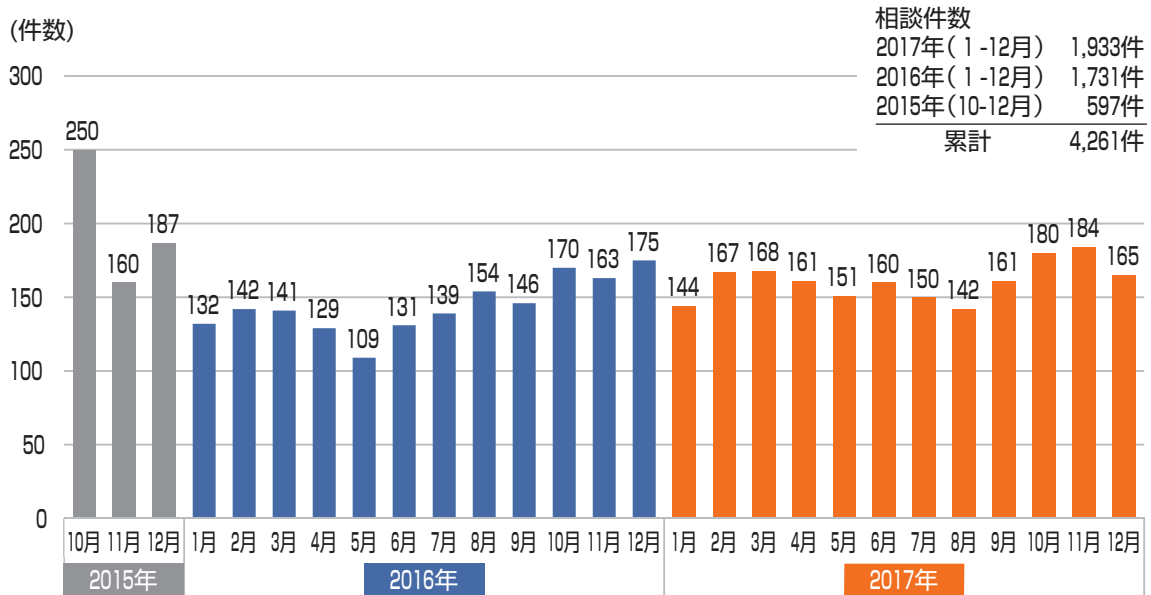
Ⅱ 年報：相談・医療事故報告等の現況

要約版 (2017 年)

本要約版は、集計結果の中から主要項目を抽出し、報告件数等について平成 29 年（2017）1 月 1 日～同年 12 月 31 日までの状況を、制度開始からの推移あるいは前年比等によりまとめている。

相談の状況

1. 相談件数の推移（数値版 1-(1)-①参照）

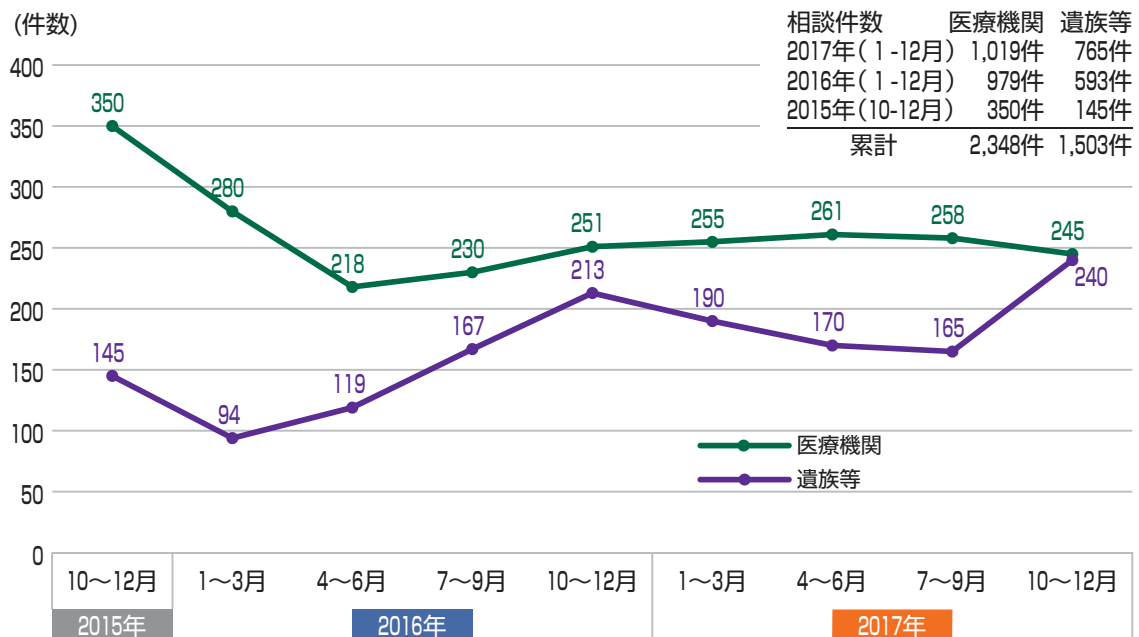


※相談手段の大半は電話であるが、それ以外に文書等が数件含まれる。

2017年
の状況

2017年の相談件数は1,933件で、140～180件程度/月で推移していた。

2. 相談者別件数の推移（数値版 1-(1)-②参照）



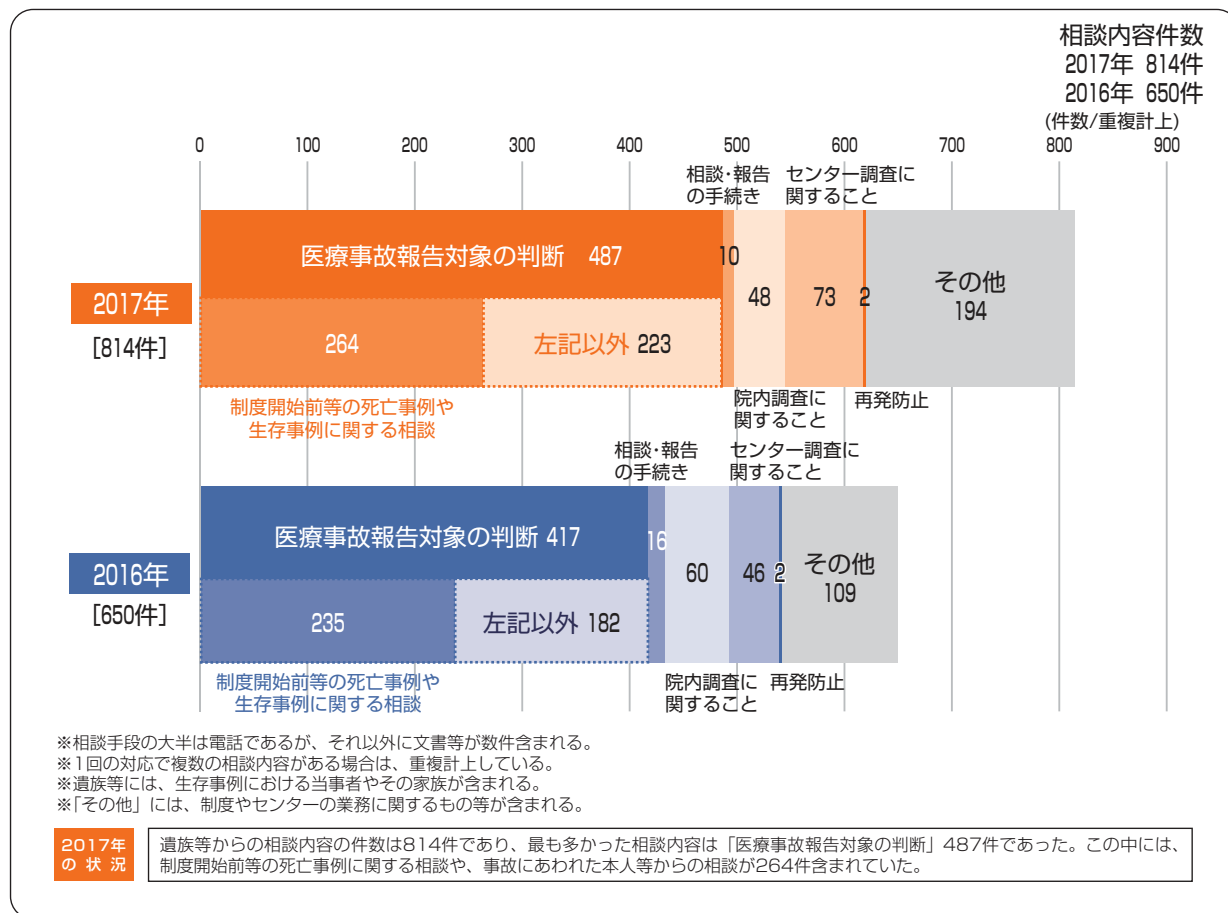
※相談手段の大半は電話であるが、それ以外に文書等が数件含まれる。

※遺族等には、生存事例における当事者やその家族が含まれる。

2017年
の状況

医療機関等からの相談は1,019件、遺族等からの相談は765件であった。

3. 遺族等の相談内容（数値版 1-(1)-④参照）



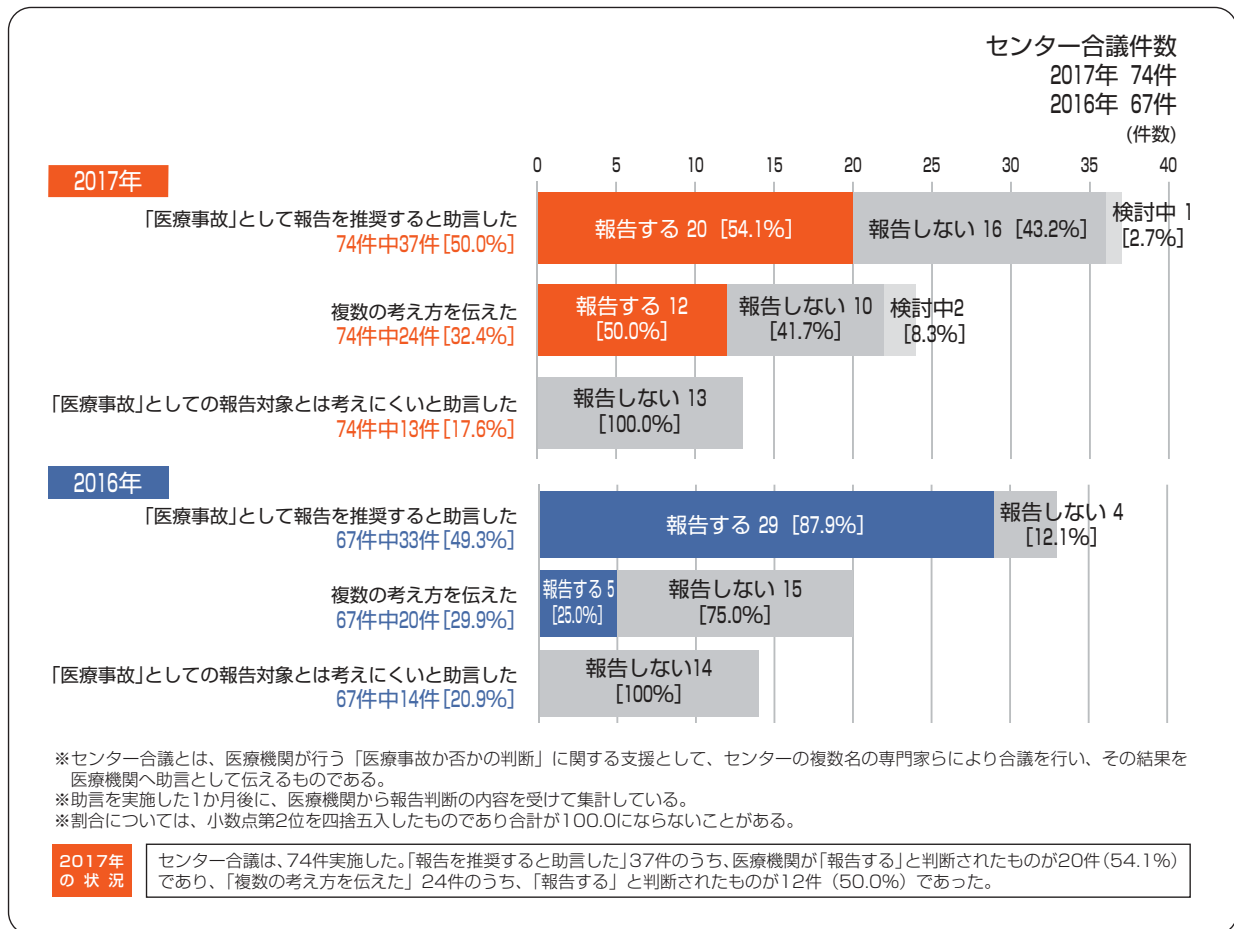
4. 遺族からの求めに応じて医療機関へ伝達した件数（数値版 1-(1)-⑤参照）

医療機関	(件数)			伝達件数	
	2017年 (1-12月)	2016年 (7-12月)	合計	2017年(1-12月)	2016年(7-12月)
病院	19	12	31	21件	14件
診療所	2	2	4		
助産所	0	0	0		
合計	21	14	35	累計	35件

※医療機関への伝達は、厚生労働省医政局総務課長通知（平成28年6月24日医政総発0624第1号）「遺族等からの求めに応じて、相談の内容等を病院等の管理者に伝達すること」に基づく。

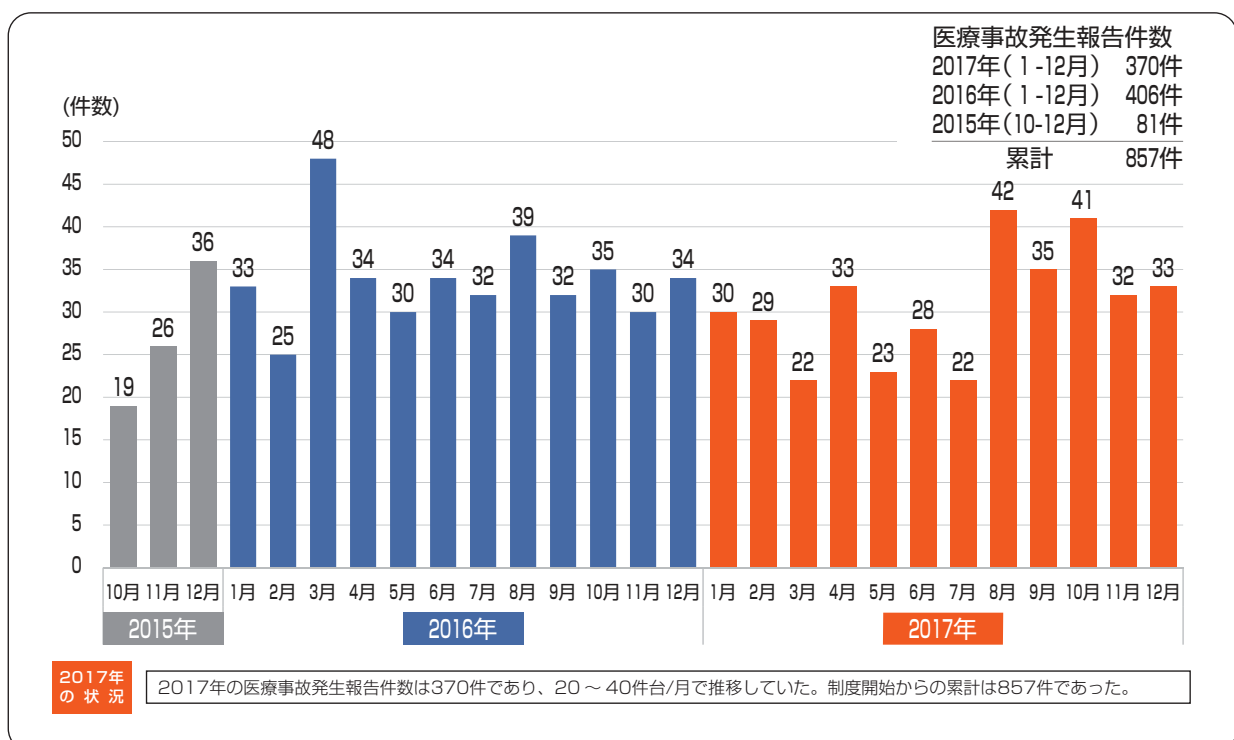
2017年の状況 遺族等からの求めに応じて実施した医療機関への伝達は21件であった。

5. センター合議における助言内容および医療機関の判断（数値版 1-(2)-④参照）

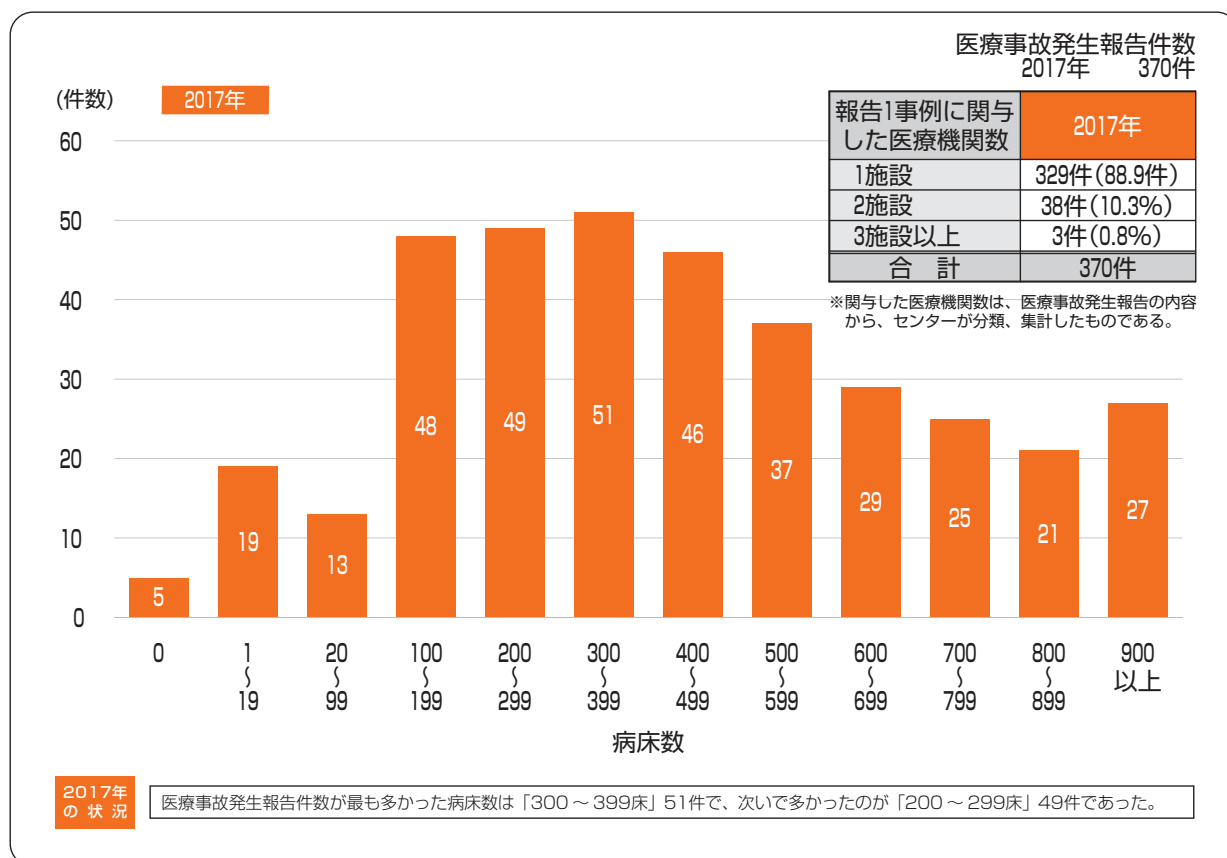


医療事故発生報告の状況

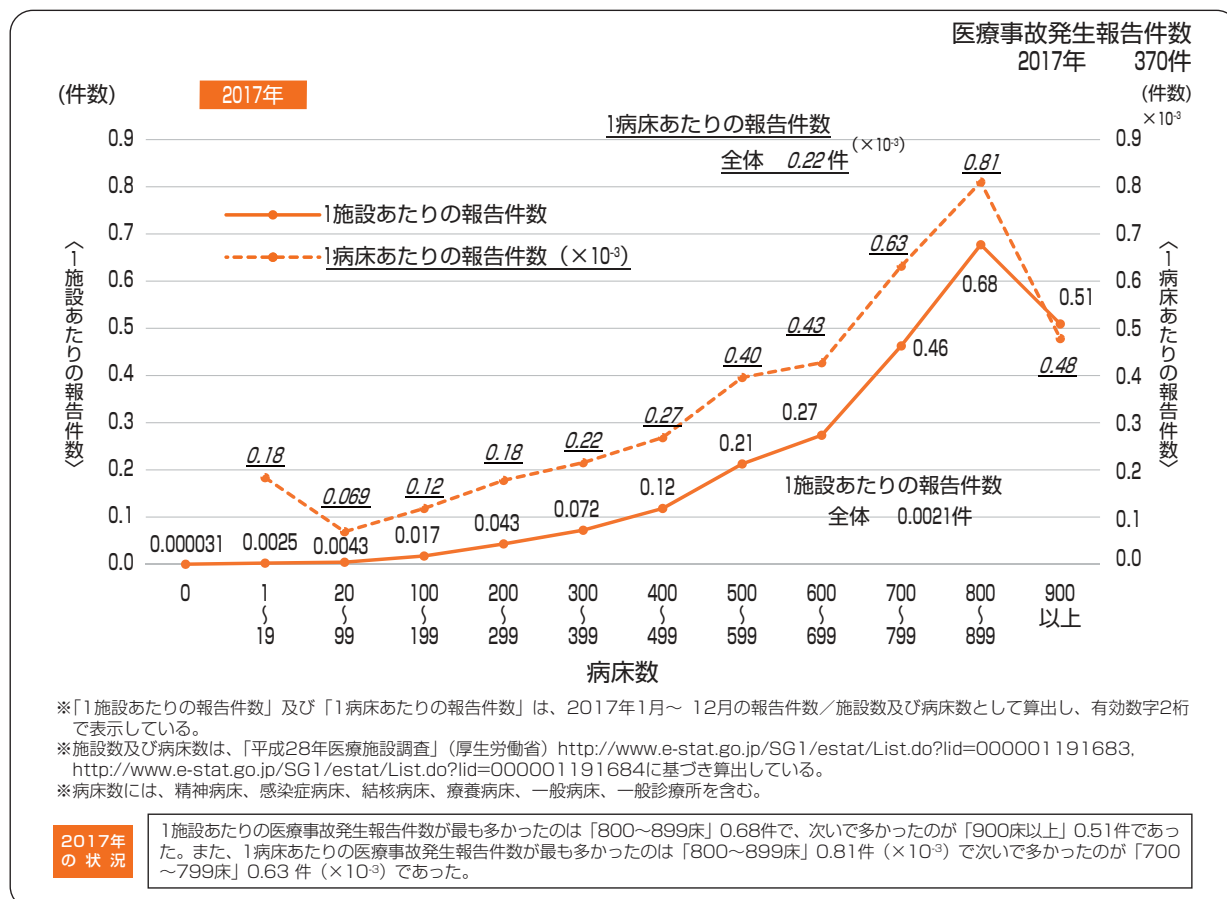
6. 医療事故発生報告件数の推移（数値版 2-(1)-①参照）



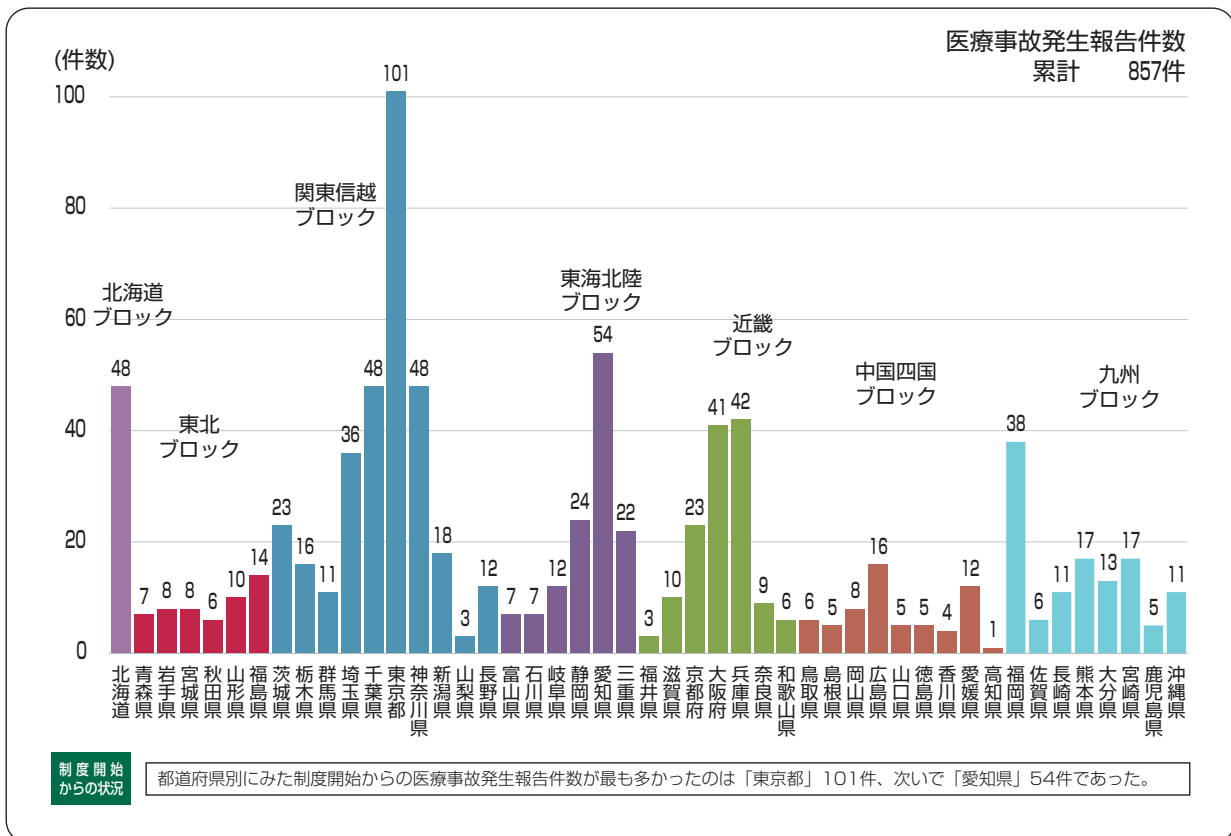
7. 病床規模別医療事故発生報告件数（数値版 2-(1)-⑤・⑥参照）



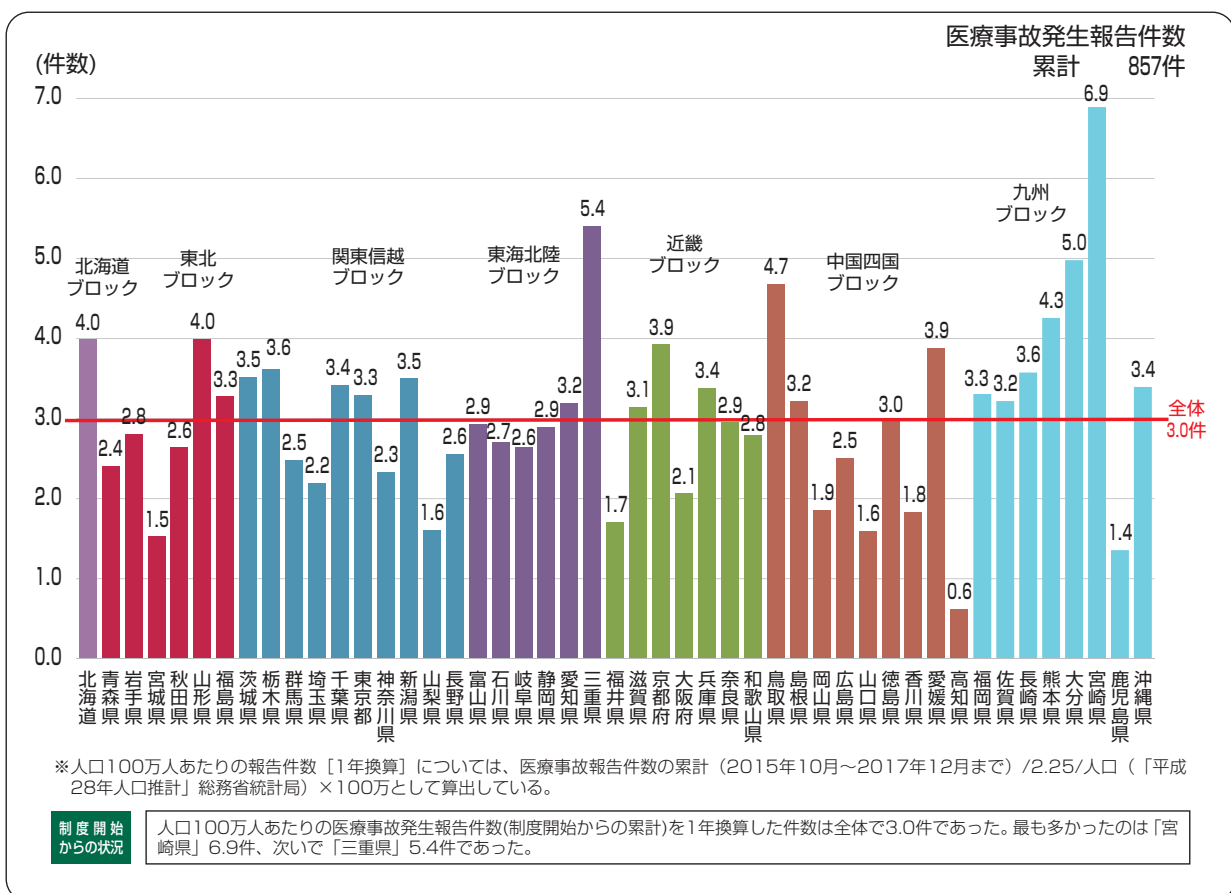
8. 病床規模別1施設および1病床あたりの医療事故発生報告件数（数値版 2-(1)-⑤参照）



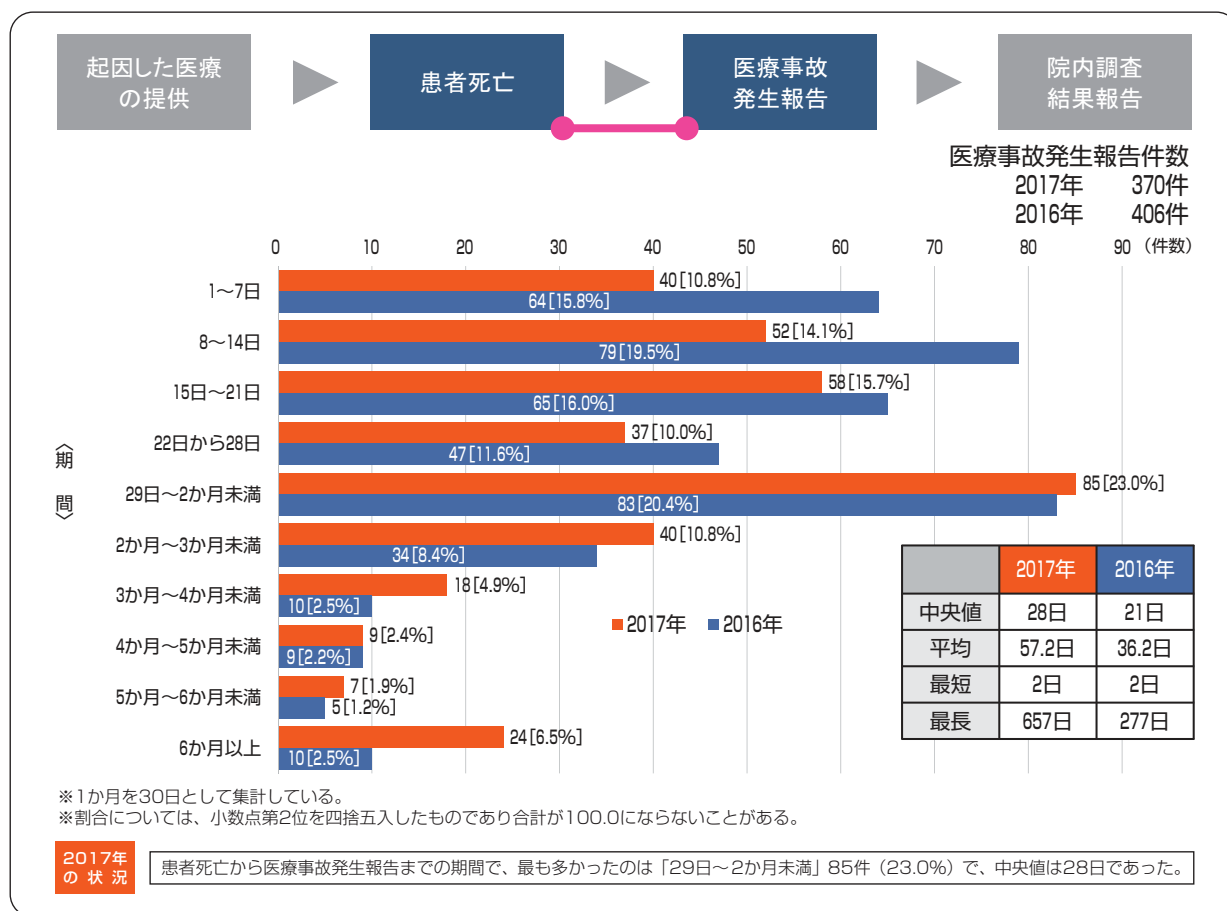
9. 都道府県別医療事故発生報告件数（数値版 - (1) - ⑦参照）



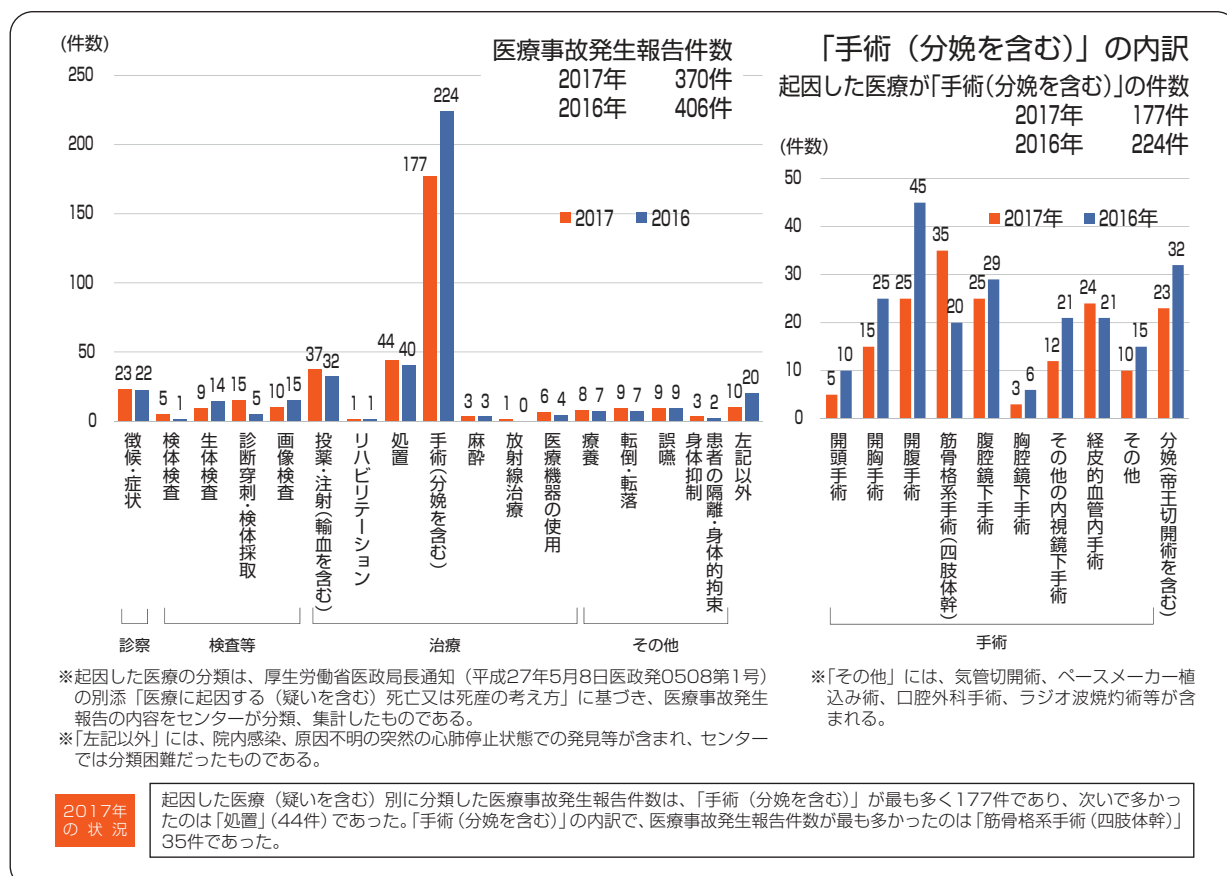
10. 都道府県別人口100万人あたりの医療事故発生報告件数[1年換算]（数値版 参考 2- (1) - ⑦参照）



11. 患者死亡から医療事故発生報告までの期間（数値版 2-(1)-①参照）

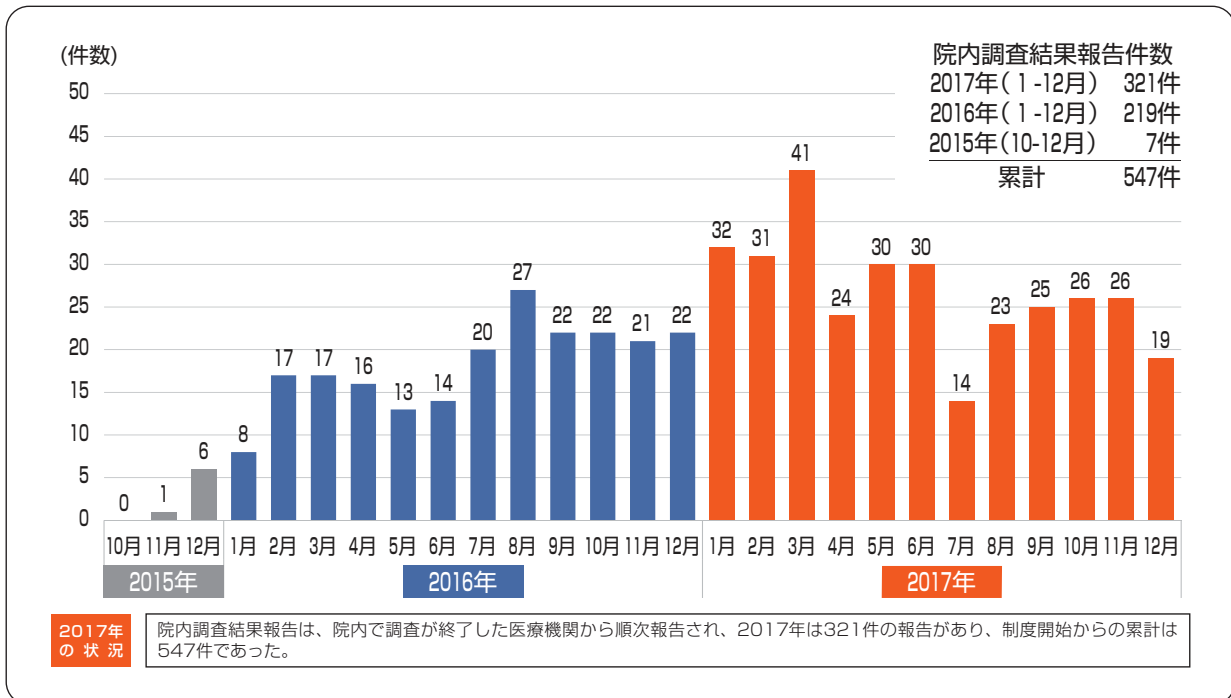


12. 起因した医療（疑いを含む）の分類別医療事故発生報告件数（数値版 2-(3)-①・②参照）

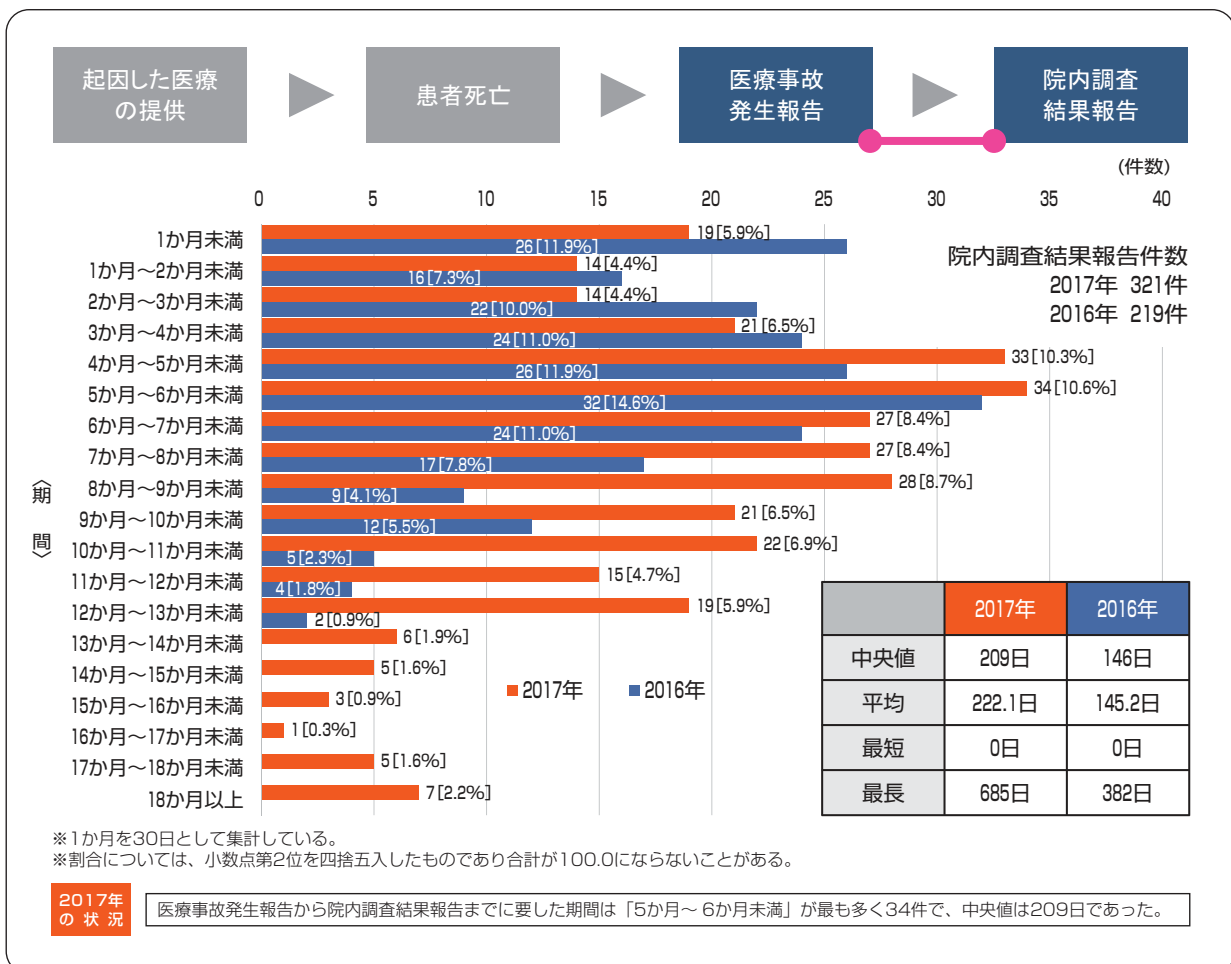


院内調査結果報告の状況

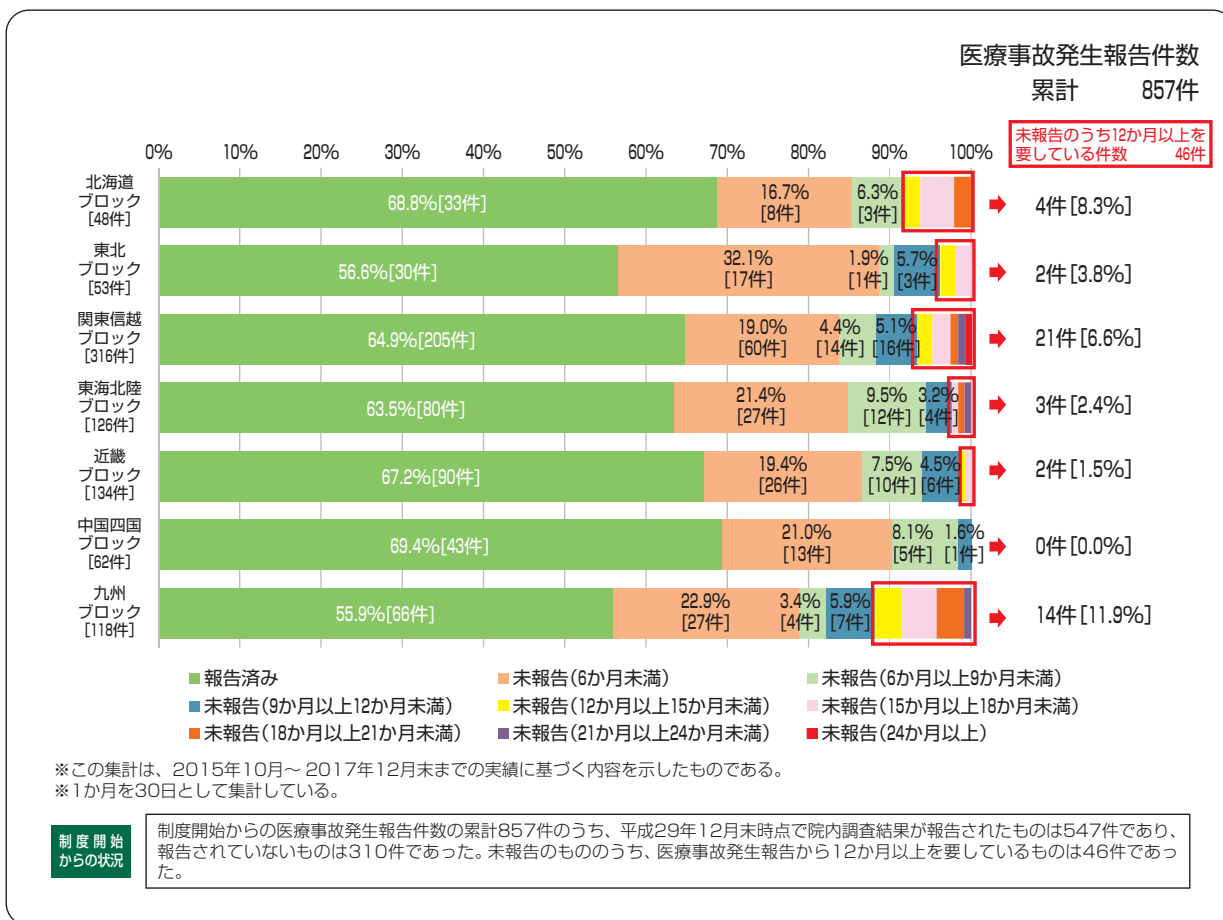
13. 院内調査結果報告件数の推移（数値版 3-(1)-①参照）



14. 医療事故発生報告から院内調査結果報告までの期間（数値版 3-(1)-③参照）



15. 地域ブロック別院内調査結果の報告状況（数値版 参考 3-(1)-③参照）



16. 医療事故発生報告から院内調査結果報告までに12か月以上を要している理由（数値版 3-(1)-③・参考 3-(1)-③参照）

報告済み 48件
未報告 46件
(重複計上)

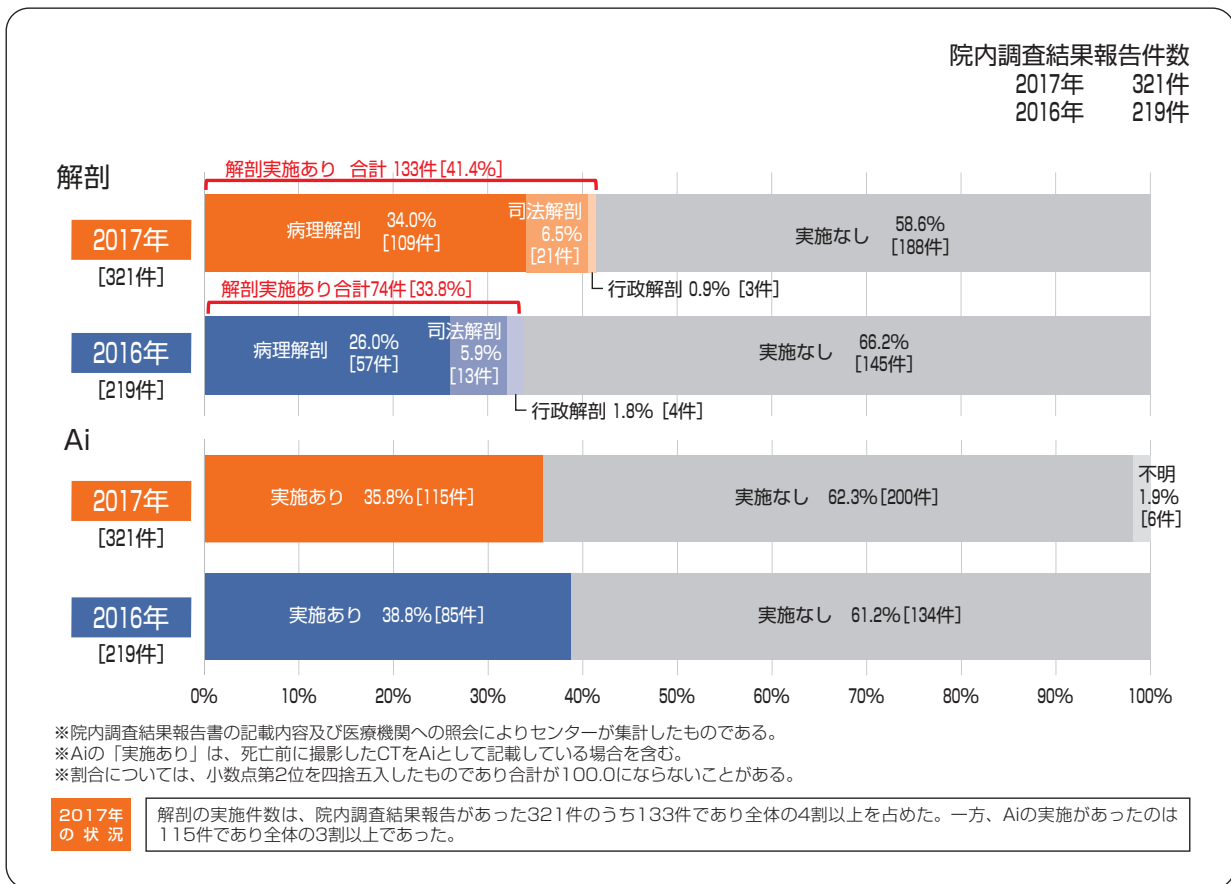
理 由		件数
制度	制度の理解不足	7
調査	解剖結果が出るまでに時間を要した	9
	外部委員の派遣までに時間を要した	25
	委員会開催のための日程調整に時間を要した	15
	調査検討に時間を要した（委員会を複数開催した等）	11
	報告書の作成に時間を要した	21
説明	遺族への調査結果の説明やその後の対応に時間を要した	26
その他	上記以外の理由で時間を要した	5
特に時間を要した要因はない		3
合 計		122

医療事故発生報告から12か月以上を要して院内調査結果報告があったもの48件と、2017年12月末の時点において未報告のもので12か月以上を要している46件について集計している。
※この集計は、医療機関への照会に基づきセンターが集計したものである。

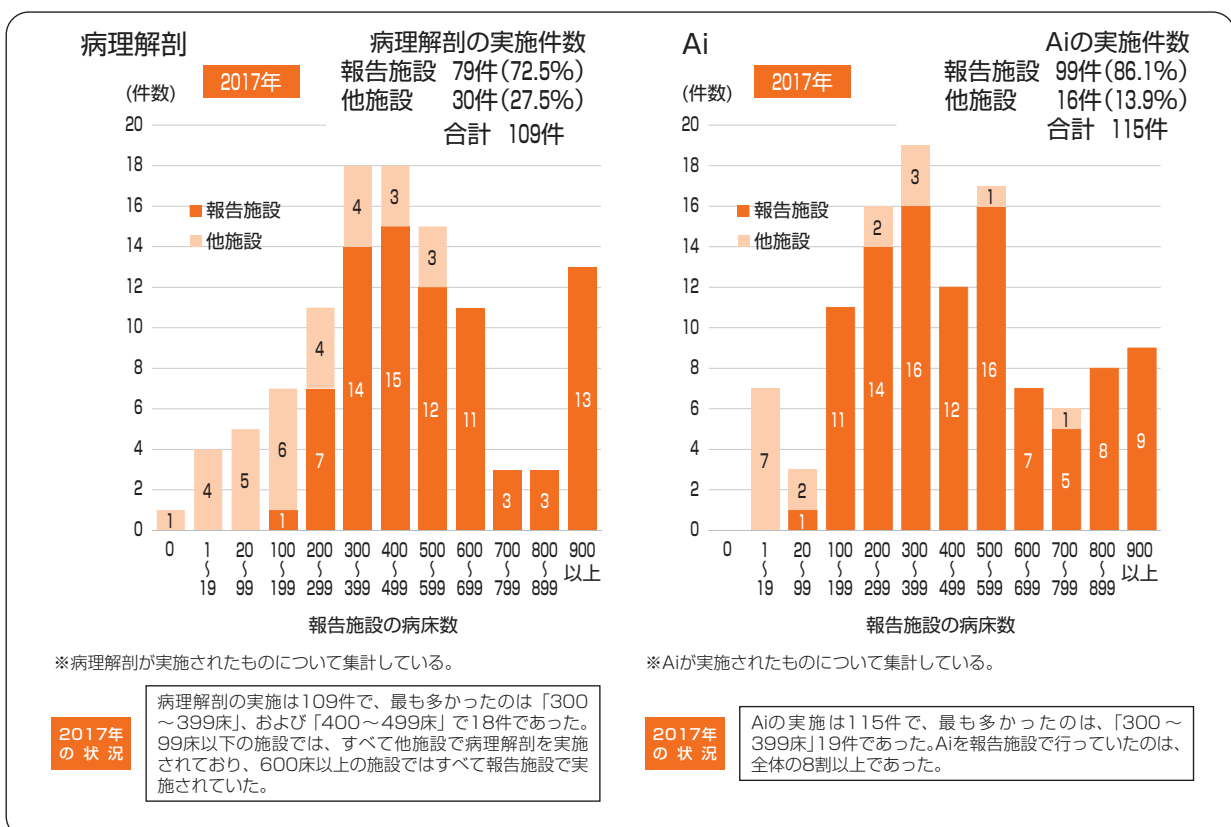
制度開始からの状況

医療事故発生報告から院内調査結果報告までに12か月以上を要している理由として最も多かったのは「遺族への調査結果の説明やその後の対応に時間を要した」26件で、次いで多かったのは「外部委員の派遣までに時間を要した」25件であった。

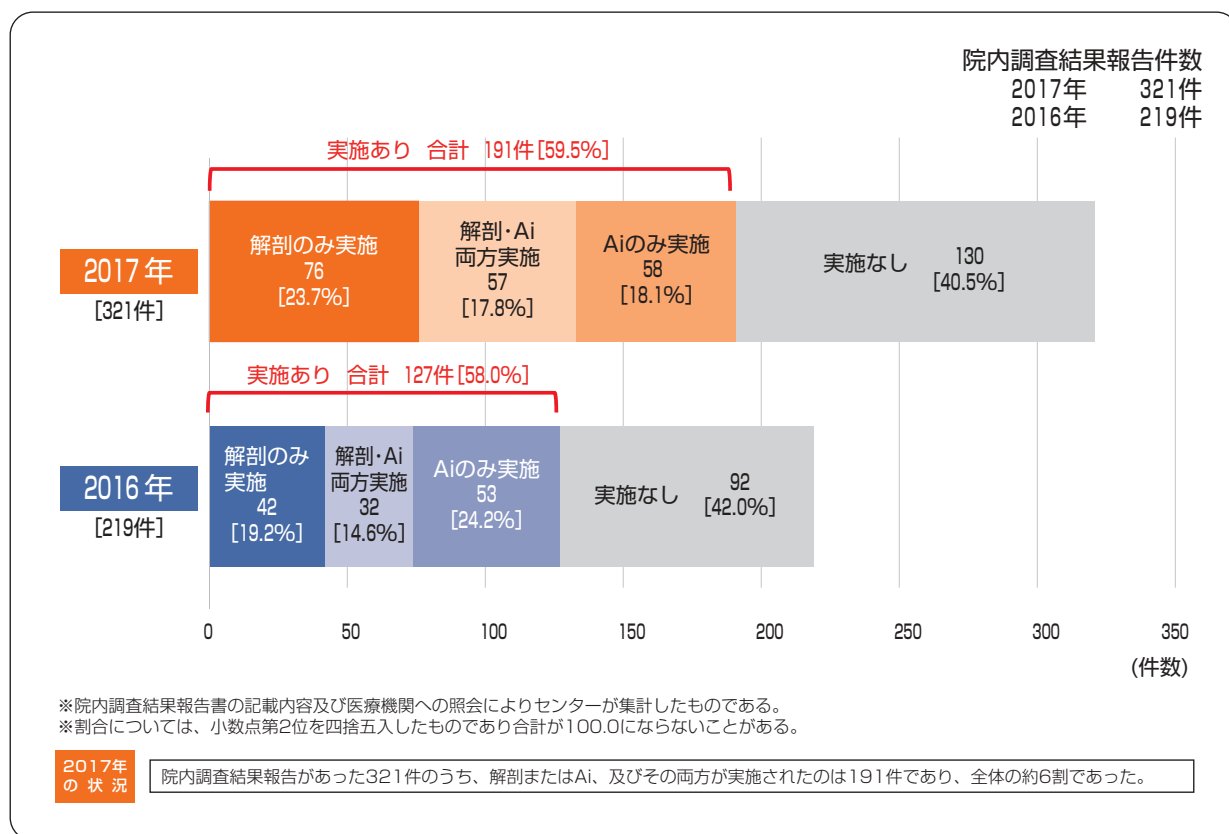
17. 解剖とAiの実施件数（数値版 3-(2)-①・②参照）



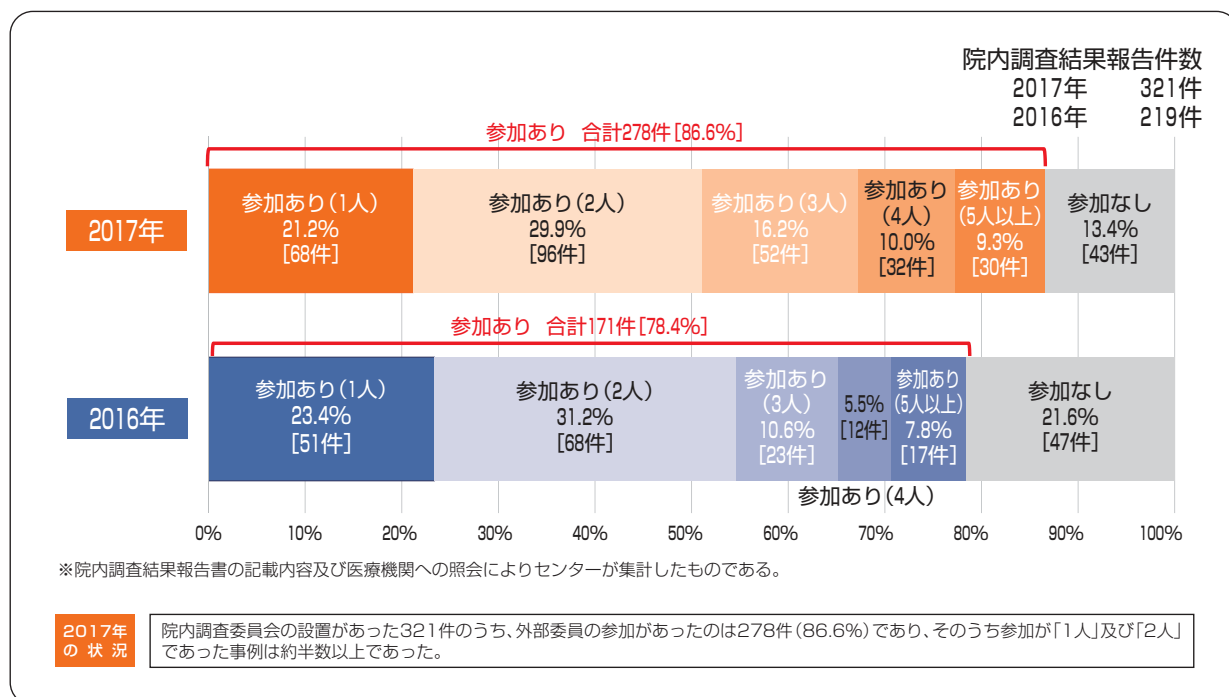
18. 病床規模別の病理解剖およびAi実施状況（数値版 参考 3-(2)-①・参考 3-(2)-②参照）



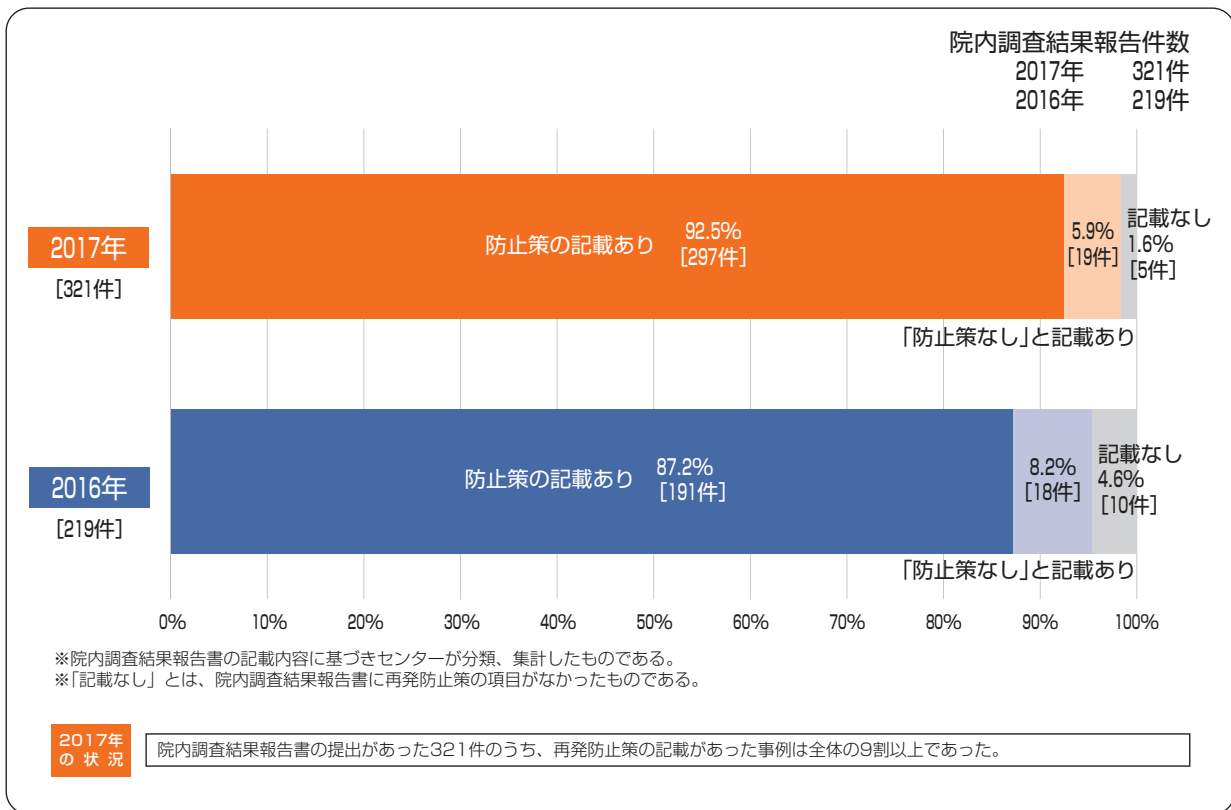
19. 解剖とAiの実施状況の内訳（数値版 3-(2)-③参照）



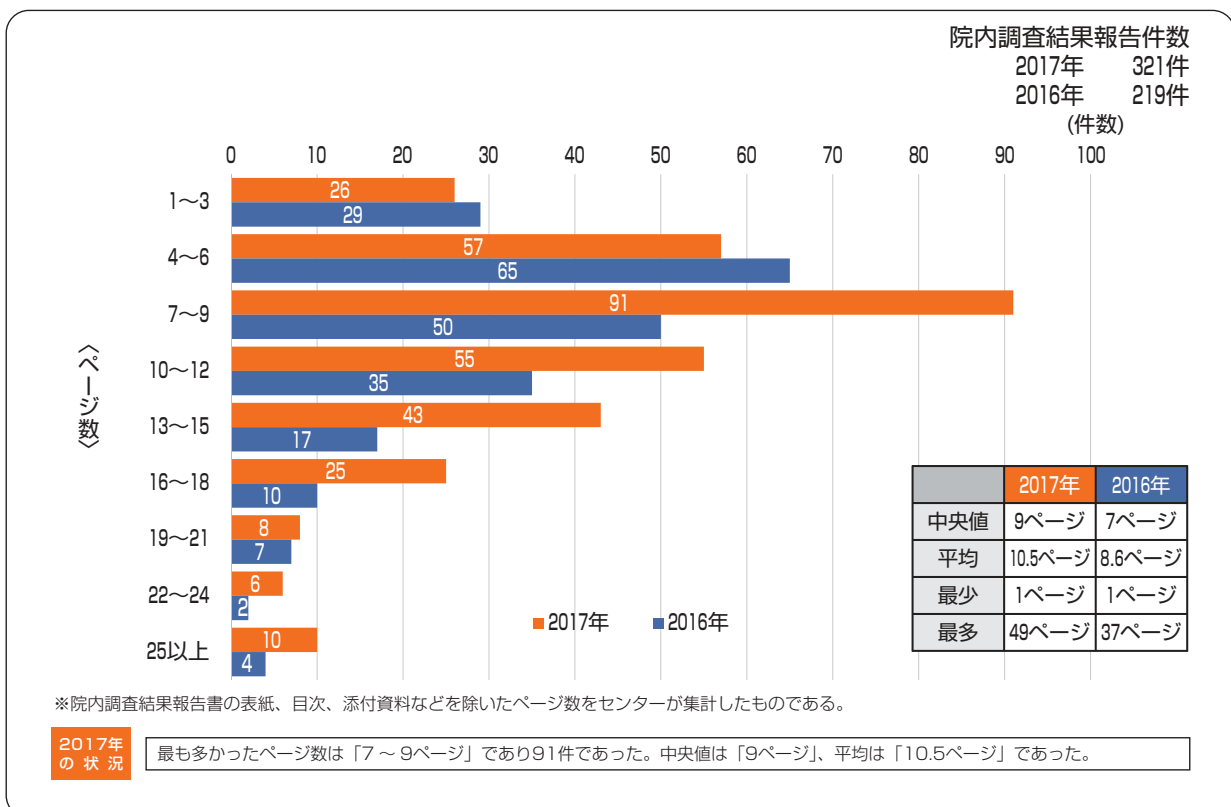
20. 外部委員の参加状況（数値版 3-(3)-④参照）



21. 再発防止策の記載状況（数値版 3-(4)-①参照）



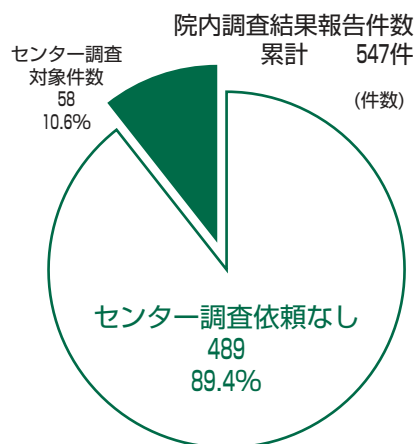
22. 院内調査結果報告書のページ数（数値版 参考 3-(6)-①参照）



センター調査の状況

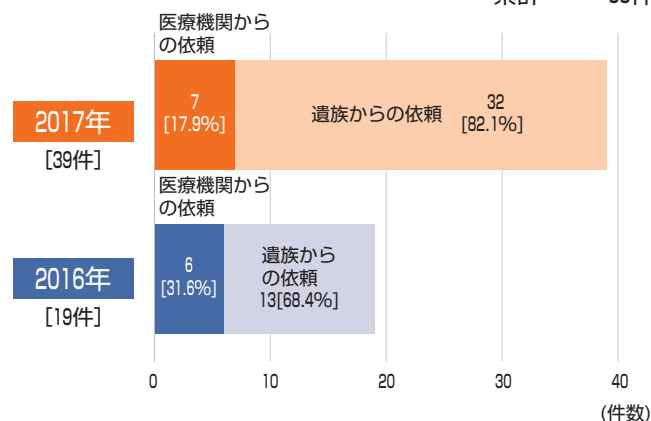
23. センター調査対象件数と依頼者の内訳（数値版 4-(1)-①・②参照）

1 センター調査対象件数



2 依頼者の内訳

センター調査対象件数
2017年(1-12月) 39件
2016年(1-12月) 19件
累計 58件



2017年
の状況

院内調査結果報告件数の累計は547件であり、そのうちセンター調査対象となった事例は58件（10.6%）であった。
2017年はセンター調査対象件数が39件であり、依頼者の内訳は、「医療機関からの依頼」が7件、「遺族からの依頼」が32件であった。

24. センター調査の依頼理由（数値版 4-(1)-③参照）

センター調査対象件数
累計 58件
(件数/重複計上)

依頼者	依頼理由		2017年	2016年	合計	
医療機関	死因が明らかでない		3	3	6	
	院内調査結果の検証をしてほしい		6	4	10	
遺族	院内調査結果に 納得できない	臨床経過	15	2	17	101
		死因	18	7	25	
		治療	20	10	30	
		説明と同意	8	3	11	
		再発防止策	8	4	12	
		委員会構成	3	3	6	
	院内調査が進まない		1	2	3	
	院内調査では信用できない		1	1	2	

※依頼理由は、センター調査依頼時の情報に基づき、センターが分類、集計したものである。
※1つの事例で複数の依頼理由がある場合は、重複計上している。

2017年
の状況

遺族がセンター調査を依頼する理由で、最も多かったのは「院内調査結果に納得できない」72件であった。